

平成 28 年度 火山防災のあり方検討会

検討会概要

1. 趣旨

(1) 背景

日本には 100 以上の活火山があるが、火山地域は観光資源に恵まれていることが多く、登山者、旅行者が訪れるところも少なくない。活火山は、噴火というリスクのある“避けるべき場所”であると同時に、登山や旅行による“訪問者を受け入れる場所”でもあるといえる。このことは火山防災上の大きなポイントであり、災害時の被害を防ぎ、抑えるためには、訪問者に「火山に関する知識の普及」を進め、いかにそのリスクを伝えるかが重要といえる。

平成 26 年 9 月の御嶽山噴火で多くの登山者が被災し、その要因の 1 つとして、登山者への情報発信が上げられている。数多くの火山を抱え、登山者・旅行者も多い長野県としては¹、御嶽山噴火災害を踏まえて、火山防災（避災、減災）のために登山者・旅行者に対する知識の普及のあり方を研究し、その実践方法を検討する必要があると考えている。

(2) 目的

以上の背景を踏まえ、登山者・旅行者に対する知識の普及にあたって重要な拠点・制度と見込まれるいわゆる「ビジターセンター」（以下、「VC」という）および「（仮）火山マイスター制度」について検討する検討会を開催し（全 4 回を予定）、以下の 2 点について取りまとめる。

① 県内 4 火山（御嶽山、浅間山、焼岳、乗鞍岳²）における VC のあり方

- ・火山防災のための知識の普及において、VC はどのような役割を担うべきか？
- ・そのために求められる機能は何か？
- ・今後 4 火山の VC で行うべき具体策は何か？

② 「（仮）火山マイスター制度³」のあり方（御嶽山における“（仮）火山マイスター”を中心に）

- ・火山防災の知識の普及において、（仮）火山マイスター制度はどのような役割を担うべきか？
- ・そのために求められる制度や人材はどのようなものか？
- ・今後御嶽山で運用する（仮）火山マイスター制度は具体的にどのようなものか？

¹ 県境近くを含めると、長野県は 10 の活火山を抱えている。草津白根山、浅間山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、御嶽山である。

² 気象庁の定める「常時観測火山」（全国 110 の活火山のうち「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として選定され、24 時間体制で観測・監視中の 47 火山）は長野県内ではこの 4 火山である。

³ 洞爺湖・有珠火山地域で運用されている制度。有珠山のある西胆振地域が火山と共生していくための地域リーダーを「火山マイスター」と呼び、「火山マイスター制度」は、火山と共生する地域リーダーを育てるための“人づくりの仕組み”をさす。

2. アウトプットイメージ

検討の結果を踏まえて、検討会第3回終了後に「中間報告」を、第4回終了後に「最終報告」を取りまとめる。これが本委員会のアウトプット（最終成果物）となる。

アウトプットの概要は下記を想定している。

①県内4火山ごとのVCのあり方

| | 担うべき役割 ／求められる機能 | 各火山において とるべき手段 | 現状で 不足していること | 必要な具体策 |
|--------|--------------------|-------------------|-----------------|--------|
| 御嶽山 VC | VC に共通の 役割・機能 | | | |
| 浅間山 VC | | | | |
| 焼岳 VC | | | | |
| 乗鞍岳 VC | | | | |

各火山の特性を踏まえて整理。

各火山の現状調査によって把握。

今後すべきことを整理。

②（仮）「火山マイスター」のあり方

| | 担うべき役割 ／求められる制度・人材 | 御嶽山で運用する際の 具体的な制度 |
|------------|-----------------------|----------------------|
| （仮）火山マイスター | | |

「洞爺湖有珠火山マイスター」を参考に検討。

御嶽山地域の状況を踏まえて、地域の特性を活かした制度を設計。

3. プロセスおよびスケジュール

| 月 | 検討委員会 | 調査等 |
|-----------------|---|--|
| 6月 | 【第1回】(6月28日) ・検討の方向性の確認 ・全国事例調査Ⅱのアンケート項目検討 | 【全国事例調査Ⅰ】 常時観測火山の周辺で火山防災に関する活動を行うVC等の有無を確認する。 |
| 7月 | | 【全国事例調査Ⅱ】 事前調査Ⅰで抽出したVC等にアンケートを行い、詳細な活動内容を把握する。 【洞爺湖有珠火山マイスター調査】 資料収集、担当者へのヒアリング等を行う。 |
| 8月 | 【第2回】 ・各調査結果の共有 ・「4火山のVC」及び「(仮)火山マイスター」の「あり方」の検討 ・4火山の現状調査の方法検討 | 【県内調査Ⅰ】 県内4火山の火山専門家へヒアリングし、特性や火山防災上の課題等を把握する。 |
| 9月 | 【第3回】 ・評価を踏まえ4火山のVCの具体策を検討 ・「(仮)火山マイスター制度の基本案」検討 | 【県内調査Ⅱ】 第2回検討会でのVC議論を踏まえ県内4火山の現地調査を行い、「評価シート」にまとめる。 |
| 10月 | <中間報告まとめ> | |
| 10月 ～ 12月 | | 【VC追加調査】 追加に調査が必要ならば、対象VC等に再調査を行う。 【(仮)火山マイスター制度づくり支援】 第3回の制度案をもとに、御嶽山地域のマイスター候補者等と調整し制度づくりを支援する。 |
| 1月 | 【第4回】 ・第3回で出た意見や追加調査等を反映し、最終的な「あり方」「具体策」を検討 | |
| 2月 | <最終報告まとめ> | |